

単元名：校内放送でC-POPを紹介

科目名	中国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年／年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	趣味と遊び	言語レベル	1	必要時間数	7～8時間

I 単元目標

中国のポップカルチャー(C-POP)について調べたり、中国の交流相手に聞いたりしてわかったことを、昼休みの校内放送で紹介し、全校生徒のC-POPに対する関心を喚起することができる。全校生徒を対象にアンケートを実施し、その結果をまとめて発表することができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる	😊	😊	😊			
できる	😊	😊	😊	😊	😊	😊
つながる	😊					

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆SNSを利用した中高校生向け交流ウェブサイトを利用して、中国の高校生がよく聞くC-POPや好きな歌手、俳優、話題の映画、本、テレビドラマなどについてたずねることができる。</li> <li>◆紹介原稿を中国語と日本語を交えて作り、発表することができる。</li> <li>◆放送で紹介した内容を校内の掲示板あるいは学校新聞に発表すべく中国語と日本語を交えてまとめることができる。</li> <li>◆初対面の相手に積極的に話しかけて、うまく情報を引き出すことができる。(コミュニケーション・ストラテジー)</li> <li>◆アンケートの結果を中国語と日本語を交えてまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中国のポップカルチャーに関心を持ち、特徴や流行について理解することができる。</li> <li>◆中国における日本のポップカルチャーの位置づけについて考えることができる。</li> </ul> <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆インターネットやSNSを利用した中高校生向け交流ウェブサイト、中国語学習雑誌を利用して調べることができる。(情報活用)</li> <li>◆グループでの話し合いに積極的に参加することができる。(協働)</li> <li>◆アンケートをPCで作成し、集計結果もわかりやすく表にまとめることができる。(情報活用)</li> <li>◆ポップカルチャーが世界でどのようになっているかを考えることができる。(知識理解)</li> </ul> <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>

コミュニケーション能力指標	<p>【趣味と遊び】</p> <p>1-a.休みの日(週末や長期休暇など)の過ごし方(よくすること)について、会話できる。</p> <p>1-c.どんなこと(スポーツ、映画、読書など)をするのが好きか、口頭で紹介しあうことができる。</p> <p>1-d.好きな有名人の名前や職業などを、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる。</p> <p>1-e.好きなテレビドラマや映画・本・音楽などのタイトルを、リストアップできる。</p>
	<p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。</p> <p>数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している</p>

II 評価

学習を助けるための評価 (形成的評価)	目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中国の高校生がよく聞くC-POPや好きな歌手、俳優、話題の映画、本、テレビドラマなどについて調べてまとめる。(情報量の豊富さ、まとめ方等)</li> <li>◆紹介したい歌手、俳優、映画など、コラージュを作成する。(簡体字とピンインで正確に作成できたか等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆グループで作ったDJの紹介文を使って実際に放送(または録音)する。(内容の適切さ、わかりやすさ、発音の正確さ、簡体字表記や表現の正確さ)</li> <li>◆放送で紹介した内容のまとめと中国のポップカルチャーについてのアンケート、インタビューの結果を合わせて発表する。(情報量、わかりやすさ、発表の工夫)</li> </ul>

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆好きな有名人の写真を用意し、初めはその写真を見せずに名前や職業、簡単な紹介を中国語でおこない誰だか当ててもらおう。答が出なければ写真を見せて話す(Show&amp;Tell)。発表原稿をまとめて冊子を作り、交流先の中国の姉妹校に送る(あるいは交流会のときに見せながら話す)。【1-d】</p> <p>◆グループごとに好きな(あるいは知っている)中国の歌手や俳優、C-POP、映画、本、テレビドラマなどを挙げ、中国語でリストアップする。そのうちいくつかを選んで、他のグループに紹介するためのコラージュを作る。写真、音楽、映像等があればそれらも使って紹介しあう。【1-d,e】</p> <p>◆グループごとに「休みの日にすることや行く所」を日本語で挙げていき、中国語で何と言うか辞書で調べる。それぞれに対し、「とても行ってみたい／行ってみたい／どちらでもいい」という回答からなるアンケート用紙を用意し、他のグループのメンバーにたずねる。アンケート結果をまとめて発表する。【1-a,c】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p>&lt;場面状況&gt; ○高校の中国語学習クラスは全校生徒に中国について関心をもってもらおうと、お昼の放送で中国のポップカルチャーについて紹介することにした。</p> <p>&lt;活動の流れ&gt; クラスをいくつかのグループに分け、インターネットやSNSを利用した中高校生向け交流ウェブサイト、中国語学習雑誌を利用して、中国の高校生がよく聞くC-POPや好きな歌手、俳優、話題の映画、本、テレビドラマなどについて分担して調べる。 調べた内容を15分間の放送用に簡潔にまとめる。1回の放送で入りきらない場合は数回にわたって放送させてもらうよう、放送部に交渉する。放送で流すC-POP(BGM用と1曲すべて流すもの)をクラスで投票して決める。DJ担当は簡単なあいさつ、曲名や歌手名、話題の映画などの紹介原稿を中国語と日本語を交えて作る。 放送で紹介した内容は(放送しきれなかったものも含めて)後日、校内の掲示板への掲示あるいは学校新聞に投稿できるようまとめる。中国への関心が高まったか、どんな印象を持ったかなどアンケートまたはインタビューも行ない、その結果も合わせて発表する。</p>	
<p>&lt;使用教材・教具&gt; (ネット利用可の)PC、C-POPのCD、SNSを利用した中高校生向け交流ウェブサイト</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p>&lt;表現&gt; Hi!同学们好!欢迎大家收听中文班的栏目(节目?)。我是中文班二年级的学生,叫高桥美惠。翻译是铃木一郎。今天我们给大家介绍一下,中国的现代流行歌曲。中国的年轻人对日本的动漫、音乐、电视连续剧都很感兴趣。那我们日本年轻人也应该了解一下中国的文化。好,今天要带给大家的是周杰伦的专辑《跨时代》,周杰伦出生于台湾,今年三十二岁的男歌手。2008年在日本武道馆也举办了演唱会。他参加过的电影也不少,比如2005年香港电影的『頭文字D』、2011年美国的The Green Hornet等。最近非常红的影星之一。</p> <p>&lt;表現のポイント&gt; 自己紹介、歌手や映画の紹介の仕方、放送開始時の常用表現</p>	<p>收听、介绍、动漫、音乐、电影、电视连续剧、流行歌曲、歌手、专辑、演唱会、演员、影星、红</p>	<p>&lt;事象&gt; ◆人気のある芸能人やスポーツ選手 ◆好きなテレビ番組や本、音楽のジャンル ◆ポップカルチャー</p> <p>&lt;事象のポイント&gt; ◆日中で人気のある芸能人やスポーツ選手を比べて、共通(共有)する人がいるかどうか調べる。 ◆中国の同世代が好きなテレビ番組や本は何かを知る。 ◆人気のある音楽のジャンルや映画を比較し、異同を比較する。 ◆日本のポップカルチャーが中国でどう受け入れられているか尋ね、自分たちの認識と同じか知る。 ◆ポップカルチャーが世界でどのようになっているかを考える。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋		他教科の内容との連繋
<p>校内放送、学校新聞、中国語学習雑誌、SNSを利用した中高校生向け交流ウェブサイト、中国のポップカルチャーの情報</p>		<p>音楽、情報</p>